

2017年3月17日



Passienol™

森永製菓独自素材“パセノール™”に関する研究成果  
「日本農芸化学会 2017 年大会(3/17-20)」にて発表

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井徹）では、健康分野における機能性独自素材の開発を推進し、パッションフルーツ種子エキス「パセノール™（アルファベット表記：Passienol™）」の原料販売に至りました。この度、「パセノール™」に関する新たな研究成果について、来る3月17日～20日の日本農芸化学会2017年大会にて発表します。

「パセノール™」は、2013年に、パッションフルーツの種子からアンチエイジング機能を有する“ピセアタンノール（Piceatannol）”を抽出して濃縮、精製したエキスです。「パセノール™」の有効成分である“ピセアタンノール”は、アンチエイジング素材として注目されている“レスベラトロール（Resveratrol）”と非常によく似た構造を有しています。当社ではこれまでに“ピセアタンノール”の機能性研究を大学と共同で積極的に進め、体内吸収性や長寿遺伝子 SIRT1 発現誘導作用、血管保護作用などを明らかにしてきました。そして、この度、新たに得られた6つの研究成果について、日本農芸化学会2017年大会で発表することになりました。

当社の、「パセノール™」の研究成果にご注目下さい。

<日本農芸化学会 2017 年大会における発表予定>

日程	講演番号	演題
18日	2A06p09	ピセアタンノールは神経幹細胞からアストロサイトへの分化を促進する 早稲田大学・森永製菓(株)
	2C13p14	LC-MS-MS を用いたパッションフルーツ種子中のフェノール性化合物の分析 早稲田大学・森永製菓(株)
19日	3A07a06	Piceatannol の破骨細胞に及ぼす影響 お茶の水女子大学・森永製菓(株)
	3A08a09	ラットにおけるピセアタンノールの血糖値上昇抑制作用 東京大学・森永製菓(株)
	3C26p15	レスベラトロールをピセアタンノールに変換する微生物の探索 早稲田大学・森永製菓(株)
20日	4B09a04	Piceatannol による制がん剤ターゲット human Glyoxalase I 阻害の解析 東京理科大学・森永製菓(株)

以上